

STUDY IN ENGLISH WITH GLOBAL LEADERS



羽ばたけ! グローバル リーダーシップセミナー及び タイスタディツアー 2023

Think Globally, Act Locally!

今後さらにグローバル化する、世界の多様な舞台で活躍したい、宮崎の高校生の皆さん

大学生と共に、様々なアクティビティやスタディーツアーを通してグローバルな視野と地域に根差した行動力を持つ「グローバルリーダー」について一緒に考えてみませんか？

「グローバル化」とは、国境を越えて人、物、金やサービスが動き、政治、経済、社会、文化など、いろいろな分野で、私たちの活動やコミュニケーションが地球規模で相互に結びつけられることを指します。

国際機関、多国籍企業や世界のリーダーは、ビジネス、政治、文化などあらゆる側面からグローバル化を捉え日々行動しています。このことは私たちの生活にも密接に関係しており、私たちが生活しているコミュニティやビジネス、自然・社会環境など、生活全般にさまざまな形で影響を及ぼしています。

今回の「羽ばたけ! グローバルリーダーシップセミナーとタイスタディーツアー2023」では「Think Globally, Act Locally! グローバルリーダーシップで宮崎から世界へ!」をテーマに、SDGsの目標達成を追求すると同時に、国連、JICA、NGOなどの機関が、グローバル社会のニーズに応え、どのように貢献し、運営されているかを、経験豊富な専門家から学びます。そして、グローバル化について理解を深め、開発援助の現場を自分の目で見て、広い視点から、自らの未来の活躍の可能性を描く機会とします。

Seminar: 3/4_{sat} ▶ 5_{sun} 30人

PLACE: 宮崎国際大学(宮崎駅まで送迎あり)

Study Tour: 7/31_{mon} ▶ 8/4_{fri} 18人限定

主催: 宮崎国際大学

後援: 宮崎県教育委員会、宮崎県市町村教育委員会連合会、宮崎市教育委員会、宮崎県私立中学高等学校協会、NHK宮崎放送局、MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、宮崎日日新聞社

協力(スタディーツアーの企画運営): 上智大学の教育事業会社(Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd.)



応募はここから!

GLOBAL LEADERSHIP SEMINAR THAILAND STUDY TOUR 2023

宮崎国際大学「羽ばたけ!グローバルリーダーシップセミナー」:2023年3月4日(土)~5日(日)の講座概要

参加資格:宮崎県内高校生で英検2級以上の者 募集定員:30名程度 参加費:無料 場所:宮崎国際大学(宮崎駅まで送迎あり)

| DAY1 | |
|-------------|-----------------------------------|
| 8:00 | 受付 |
| 8:45~ 9:15 | 講座1:グローバルリーダーシップセミナーオリエンテーション |
| 9:15~10:30 | 講座2:班分け、アイスブレイキング&班ごとの目標設定 |
| 10:30~10:40 | 休憩 |
| 10:40~12:00 | 講座3:グループの連携と信頼関係の構築 |
| 12:00~13:00 | 昼食 |
| 13:00~13:50 | 講座4:グローバル人材の育成 |
| 14:00~14:50 | 講座5:グローバル社会におけるリーダーシップ(スポーツの観点から) |
| 15:00~15:50 | 講座6:SDGsの目指すもの |
| 16:00~16:50 | 講座7:ビジネス、環境と人権:企業の社会的責任とは |
| 16:50~17:20 | Reflection Time |
| 17:20~18:20 | 即興発表 |
| 18:20 | 解散 |

| DAY2 | |
|-------------|-----------------------------------|
| 8:00 | 受付 |
| 8:30~12:20 | 国際機関の世界 |
| | 国際協力とは:国連機関、開発銀行 政府援助機関やNGOの役割 |
| | 講座8:国連の開発協力 |
| | 講座9:専門機関等の役割 |
| | 講座10:開発銀行の役割 講座11:政府開発援助機関の役割 |
| 12:20~13:10 | 昼食 |
| 13:10~14:00 | 講座12:現場の体験談:海外青年協力隊 |
| 14:00~14:50 | 講座13:NGOと市民社会組織 |
| 14:50~15:40 | グループディスカッション:グループごとに課題を選び発表する |
| 15:50~17:30 | グループプレゼンテーションの準備 |
| 17:30~18:30 | プレゼンテーション(目標達成のふりかえり&確認) |
| 18:30 | 閉会式及び解散(アンケート) |

宮崎国際大学現地体験タイスタディーツアー2023:現地プログラム(7月31日~8月4日)の目的と概要

参加資格:GLS及びオリエンテーションの参加 募集定員:高校生12名、大学生6名(引率あり) 参加費:30万円程度(旅費、現地交通費、宿泊費、各種保険含む)

| 日付 | 訪問・活動先 | 目的・概要 | 該当する主なSDGs |
|---------|--------------------------------|--|------------|
| 7/31(月) | 午前 国連ビル(バンコク) | 国連の活動について:国連機関が集積するバンコクで、国際労働機関(ILO)にて、発展途上国の開発と労働問題について、国連薬物・犯罪事務所(UNODC)にて、人身売買問題について、国際開発計画(UNDP)にて、企業活動と人権について学ぶ。また国際会議場見学する予定。 | |
| | 午後 UNICEFタイ事務所(バンコク) | タイと周辺国における教育と児童労働:子供中心主義による児童への教育アクセス改善と質向上、「子供の権利条約」、コロナ禍における児童の保健・衛生問題等について学ぶ。特に児童労働問題の背景にある要因を理解し、改善策を考える。 | |
| 8/1(火) | 午前 味の素(アユタヤ)の展示館と工場 | 国や地域に根差した農業と「食」の在り方:「味の素」は、それぞれの国や地域に根差した企業である。それぞれの国で採れる原材料を使用し、うまみ調味料(グルタミン酸ナトリウム)を生産・販売している。生産者へ利益還元する持続可能な農業に取り組んでおり、そのコンセプトを理解する。 | |
| | 午後 アユタヤ遺跡視察 | 歴史・文化遺産と日本との関係:アユタヤはかつてのタイの王朝であり、隣国との紛争や内戦を繰り返した歴史がある。山田長政は江戸初期にアユタヤで活躍した日本人として知られている人物である。歴史・文化遺産を訪問しつつ、タイの歴史と日本との関係の起源を学ぶ。 | |
| 8/2(水) | 午前 国際労働財団タイ事務所水上マーケット | タイにおける移民労働者の現状と課題:タイは労働力不足に直面し、隣国から移民労働者が流入している。移民労働者は不法就労者であることが多く、劣悪な労働環境を強いられている。移民労働者支援に取り組む財団において問題の現状と課題について、また水上マーケットにて消費について考える。 | |
| | 午後 えび加工工場(サムットサコン) | えび・魚の養殖と加工工場の視察:ILOと国際労働財団タイ事務所の仲介によって、ミャンマー等の隣国からの移民労働者が多く働くえび・魚の養殖場と加工工場を訪問する。ビジネスの在り方、移民労働者の人権、日本を含む輸出先との関係性、等を考える。 | |
| 8/3(木) | 午前 東部経済回廊(EEC)(チョンブリ) | 「タイランド4.0」と東部経済回廊(EEC):タイは国家ビジョンとして「タイランド4.0」を掲げ、経済社会の知識化と産業の高度化を目指し、経済成長と格差是正に取り組んでいる。東部経済回廊(EEC)は経済成長に必要なインフラ整備事業を中心としており、輸出入を支えるレムチャバン港視察をする。 | |
| | 午後 パンヤピワット経営大学(PIM)パタヤキャンパス | 東部経済回廊(EEC)における人材育成:タイの最大財閥といわれるCPグループが設立した企業大学であるパンヤピワット経営大学(PIM)のパタヤキャンパスを訪問し、東部経済回廊(EEC)における技能者養成やタイの少子高齢化に伴う医療・看護、介護人材を育成する看護学部を訪問する。 | |
| 8/4(金) | 午前 シーカ・アジア財団(バンコク) | 都市スラムで考える格差問題:タイの首都であるバンコクには、繁栄する商業地域がある一方で、チャオプラヤ川に隣接する港湾施設があるクロントイ地域の一角に都市スラム街が存在する。スラム街生活者を支援するシーカ・アジア財団を訪問し、クロントイスラム内を歩きながら、生活者の「生の声」を聴く。 | |
| | 午後 振り返り:学びの共有と内在化(バンコク) | 学びの振り返り:現地体験スタディーツアーで実際に訪問した場所や自分で見聞きした体験をもとに、自分の学びについて他者と共有する。そうすることによって、学びを内在化しつつ、自らの今後の学びや将来の指針となるように努める。 | |

(注)羽ばたけ!グローバルリーダーシップセミナー及びスタディーツアーのプログラムについては変更される可能性があります。